

令和3年(2021年)12月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2021年12月 数 量 (トン)	2021年12月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産、千葉県産中心の入荷でした。太物中心の入荷となり、入荷量は前年並みで推移しました。平均単価はやや安く推移しました。	505	59	99%	95%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。生育が良く順調な出荷となり、入荷量はやや増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	886	33	107%	109%
3		きゅうり	宮崎県産中心の入荷でした。潤沢な出荷が続き、入荷量はやや増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	280	335	107%	95%
4		ねぎ	埼玉県産、茨城県産、宮城県等東北産中心の入荷でした。良好な生育による太物中心の出荷となり、入荷量は増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	250	289	116%	75%
5		馬鈴薯	北海道産中心の作柄不良による不作の影響により、入荷量は前年並みで推移しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	360	221	98%	155%
6	果実	みかん類	良好な生育による順調な出荷により、入荷量はやや増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	1,573	289	105%	109%
7		りんご類	作柄不良による小玉傾向の影響により、入荷量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	209	351	89%	140%
8		いちご類	11月の前進傾向と12月の寒波の影響が重なり、入荷量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	70	2,442	68%	117%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上